

本日は、私ども当処分組合から4月21日に日の出町の青木町長に協力をお願いをしておりました「たまりサイクルの森・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場に関連する、ごみ減量・リサイクル（焼却残さのエコセメント化）施設」の整備につきまして、基本的に同意する旨のご回答を頂き、誠にありがとうございました。

とりわけ青木町長をはじめとして、町議会の土澤議長、赤保谷副議長など多くの議員の皆様方、地元第22自治会の宮岡自治会長、篠崎処分場対策委員長をはじめ、関係者の皆様方の「三多摩は一つなり」の広き心で、多摩370万人の都民が、共に協調し、協力することを基本理念として、エコセメント施設の受け入れについて、深いご理解を頂いたことについて、処分組合の全理事と組織団体の全住民に代わって、心から感謝を申し上げます。

エコセメント事業は、言うまでもなく「多摩地域のリサイクルの推進」「最終処分場の有効活用」「安全な埋立対策の一層の推進」という3つの事業目的を実現するために実施するものです。

いずれの目的も三多摩に住む全ての人々にとって、循環型地域社会の形成と快適な生活を営むための大切な目標であります。この度の基本的同意をもとに、一日も早く事業が開始できるように全力をあげて準備を進めてまいります。

今後、環境アセスメントや都市計画決定などの諸手続きを経ていくこととなりますが、この過程では、とりわけ安全対策や周辺環境対策などにつきまして、十分に配慮しながら取り組んでまいり所存でございます。

したがいまして、環境調査結果やスケジュールなどの情報につきましては、地元自治会、日の出町に適時的確にお伝えし、緊密な連絡を取りながら進めてまいります。

また、エコセメント事業により、焼却灰の全量を資源化できることにはなりますが、処分組合の組織団体におきましても事業の円滑な推進を図ると同時に、ごみの発生抑制、減量化やリサイクルを、これまで以上に強力に推進してまいります。

どうぞ、今後とも私ども処分組合に対しまして、引き続き深いご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。